

『さまよう異国の旅』 寸評

- ・余韻にも多くを語らせるバロック様式の作品
- ・ m.1-2 休符をとったベースがとてもよい この先を暗示
- ・ m.14-15 舞い落ちてくかのような *rallentando* がこのましい
- ・ 各所に振られたプラルトリラーが優雅で品がよい
- ・ なんとなく焦点がさだまらないタイトル 異国がさまようのか

完成度をさらに上げるために

- ・ 「チェンバロでもよい」と楽譜に注記したらどうだろう
- ・ m.10から *Più mosso* でテンポを速める必要があるのかどうか
- ・ m.3,13 16分音符に付された「4」を消そう
- ・ m.10-15 やや八分音符が羅列気味 バロック様式で起こりがち
- ・ m.2 b.4 左手は四分休符
- ・ m.6-7 b.3 右手は四分音符でもよさそう
- ・ m.15-16 半終止にしても短調だとおもしろい



- ・ *Tempo rubato* は漠然とではなく範囲を指定しよう

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

とてもかじがでています。

持摩 勉